

はじめに

海老名市教育委員会では、平成26年度より全国学力・学習状況調査における市の結果と海老名市立小中学校全19校（小学校13校、中学校6校）の結果を公表しています。

つきましては、次のとおり平成31年度（令和元年度）の調査の結果を公表します。

なお、今年度から教科に関する調査において、知識（A問題）と活用（B問題）を一体的に問う問題形式で実施されたことにより、本市の結果公表様式を変更いたしました。

公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

また、公表をすることによって、保護者や市民の皆様に、市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

◆公表の目的

- ひとりひとりの児童・生徒が、自分自身を改善する。
- 学校が指導の改善に生かす。
- 海老名市教育委員会が教育施策の改善に生かす。
- 保護者・市民に公表し、学習習慣や生活習慣の改善に向けて協力を得る。

◆公表の内容

<市全体の結果>

- 平均正答率や分布、質問紙の結果を、全国・県との比較で、数値や文章で表記する。
- 「ダイジェスト版」「結果概要」を記載する。
- 分析とともに今後の具体的な取組を記載する。
- 地域や家庭と協力して取り組むことを記載する。

<各校の結果>

- 全校が同じ構成で公表するが、様式・内容については学校裁量とする。
- 平均正答率は記載せず、文章で表記する。
- 分析とともに「今後の具体的な指導改善のポイント」を記載する。
- 家庭との協力について記載する。

◆公表の方法

<市全体の結果>

- 市のHPにて公表する。

<各校の結果>

- 小学校6年生、中学校3年生の家庭には冊子を配付する。
- 市のHPにて公表する。